

小児便秘症は、生命に直結する疾患でないため、患児および保護様が軽い病気と考える傾向にありますが、尿路感染症や夜尿などの排尿障害、成長障害などの原因となることもあり、非常に多くのかたが日常生活において困っている疾患です。

日本での小児慢性機能性便秘症の頻度を調べた報告は少ないですが、5.6%～18.5%と報告されています。

当科では、小児便秘症専門外来を開設し、小児外科医として御高名であり小児便秘症に造詣の深い窪田昭男先生を招聘し診療しております。

リンク先：小児慢性機能性便秘症ガイドライン、小児便秘症専門外来